



第2回

Hospital Water Hygiene 研究会学術集会

The 2nd Annual Meeting of Japanese Society for Hospital Water Hygiene

アンダーコントロールをするためにどこを基準とするか、どこまでやるか

会期

2020年

11月28日(土) ▶ 12月18日(金)

参加費

1000円

電子版抄録集代込

会場

WEB配信による開催

受付期間

10月19日(月) ▶ 12月17日(木)

0時00分 23時59分

会長

中村 造

東京医科大学病院
感染制御部・感染症科 准教授 / 副部長

参加方法

研究会ウェブサイトの「開催案内」よりオンラインで登録ができます

<https://fs.lck-cloud.jp/u13673/eventinfo/>



招請講演

医療機関における水の安全管理 Managing water safety in healthcare premises

Dr. Susanne Lee (Public Health Microbiologist, Director Legionella Ltd, UK)

日本語字幕

シンポジウム1 国内の事例

トイレのウォシュレット介した緑膿菌の伝播事例

中村 造 (東京医科大学病院 感染制御部・感染症科 准教授・副部長)

院内水性環境汚染が原因として疑われた Roseomonas 菌血症の事例

岡本 耕 (東京大学医学部附属病院感染症内科 医局長・特任講師)

当院で発生した給湯システムに由来するレジオネラ感染事例とその対策

石渡 麻衣子 (千葉県立佐原病院 感染管理認定看護師)

感染対策が適切に実施されてはじめて抗菌薬適正使用支援のアウトカム評価ができる
～水回りを介した緑膿菌の伝播事例を経験して～

一ノ瀬 直樹 (公立昭和病院 薬剤部・感染管理部 日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師)

シンポジウム2 設備・管理

水まわり器具における衛生配慮の事例

村橋 利行 (TOTO 株式会社 機器水栓開発第一部 機器水栓開発第一グループ 主席技師)

CDC toolkit の紹介～建築物におけるレジオネラ属菌の増殖・蔓延を抑制する水管理プログラムの策定

黒木 俊郎 (岡山理科大学 獣医学部獣医学科 医動物学講座 教授, Hospital Water Hygiene 研究会 事務局長)

第1回 Hospital Water Hygiene 研究会学術集会のアンケート集計結果

黒木 俊郎 (岡山理科大学 獣医学部獣医学科 医動物学講座 教授, Hospital Water Hygiene 研究会 事務局長)

総合討論

主催：Hospital Water Hygiene 研究会

協力：厚生労働省科学研究費補助金（健康安全・危機管理総合研究事業）「公衆浴場におけるレジオネラ症対策に資する検査・消毒方法等の衛生管理手法の開発のための研究」班、
「化学物質等の検出状況を踏まえた水道水管理のための総合研究」班より微生物分科会（細菌・寄生虫G）